

中央環境審議会総合政策部会環境情報専門委員会 発表資料

## 『企業における外部評価の活用等による 持続可能な社会の構築について』

富士フイルムホールディングス株式会社  
コーポレートサポート部 CSRグループ  
担当課長 五所亜紀子

### 富士フイルムグループの概要(1)

創立 1934年1月20日

代表取締役社長・CEO 古森 重隆

連結売上高 2兆8,468億円

連結営業利益 2,073億円

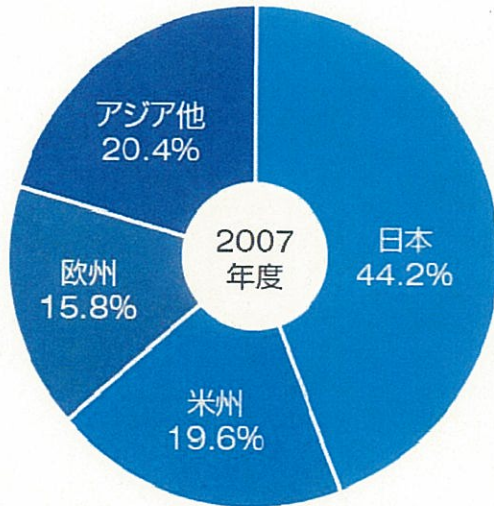
連結従業員数 合計 78,321人

連結会社数 227社(26ヶ国)



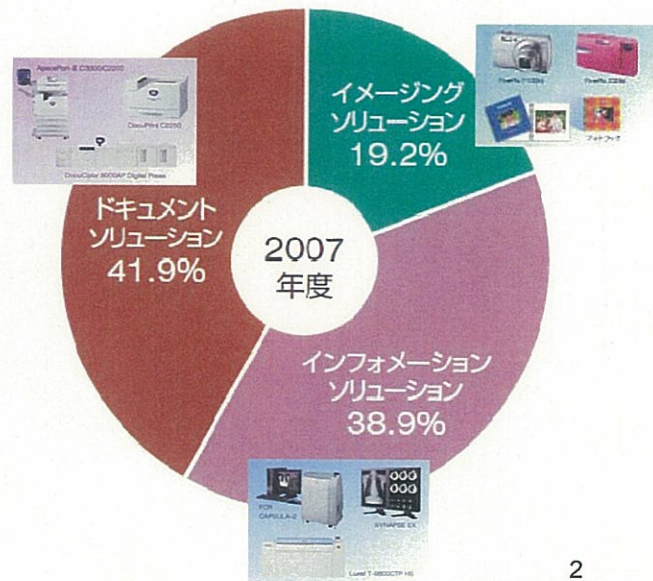
# 富士フイルムグループの概要(2)

■ 地域別連結売上高構成比



2008/7/30

■ 事業セグメント別連結売上高構成比



2  
FUJIFILM

## CSRの考え方

富士フイルムグループは、企業理念、ビジョン、企業行動憲章、行動規範に則り、「CSRの考え方」を理解し、行動すること。

### 富士フイルムグループの「CSRの考え方」

富士フイルムグループの考えるCSRとは、誠実かつ公正な事業活動を通じて企業理念を實踐し、ビジョンを実現することにより、社会の持続可能な発展に貢献することです。

わたしたちは、

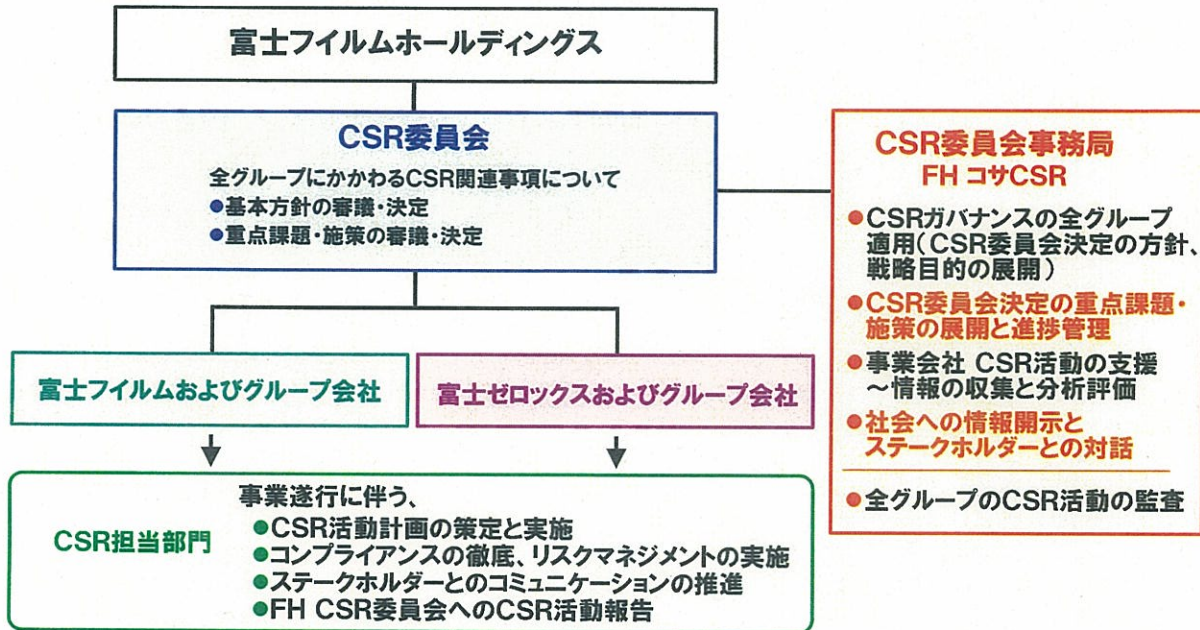
1. 経済的・法的責任を果たすことはもとより、さらに、社会の要請に応えるよう、企業市民として、社会における文化・技術の発展や環境保全に寄与していきます。
2. わたしたちのCSR活動が、社会の要請や期待に適切に答えているか、その活動が的確に実施されているか、ステークホルダー（お客様、株主・投資家、従業員、地域社会、取引先など）との対話などを通して、常に見直していきます。
3. 事業活動に対する説明責任を果たすため、積極的に情報開示を進め、企業の透明性を高めます。

2008/7/30

3  
FUJIFILM



# CSR推進体制



2008/7/30

## 中期CSR課題(2007年7月～)

重点領域	主な課題
ガバナンスの強化	(1) 「富士フィルムグループのCSRの考え方」の国内・海外グループへの浸透 (2) コンプライアンス、リスクマネジメント徹底のためのPDCA管理の強化 (3) 事業会社におけるCSR活動の進捗状況のチェック強化 (4) ステークホルダー・ダイアログの拡充と、第三者評価のグループ会社への展開(特に、海外及び国内販売会社)
新たなトレンドへの対応	(1) グローバル企業としての多様性や労働安全に関する取り組みの強化 (2) CSR調達枠組みづくりと展開 (3) 生物多様性の保全、社会貢献活動に関する基本方針の明確化
情報開示の拡充	(1) サステナビリティレポートの充実及びCSR活動情報の積極的な広報 (2) 事業成果におけるCSR側面の定性・定量情報の効果的な内部利用と情報開示 (3) PL、災害、輸出関連などのより「迅速な情報収集のための社内体制の推進
環境法規制への対応	(1) REACH規則への対応 (2) 統合化学物質管理システムの強化
地球温暖化防止策の強化	(1) 温暖化対策の目標の見直しと強化

2008/7/30



# 何を参考にCSR情報を 収集しているか？

- 行政や参加団体への報告項目
- 環境省やGRI等の報告ガイドラインの項目
- SRI評価、CSR関連のアンケートの項目
- ステークホルダー・ダイアログの意見

2008/7/30

6  
FUJIFILM

## 環境情報は、システムを活用して収集(1)

段階的に、環境情報収集のバウンダリ・項目をバージョンアップ!

- 1990年～1995年  
富士フィルムの情報収集(法規制項目)  
(1995年～レスポンスブル・ケア協議会:JRCCに加盟)
- 1996年～2003年  
富士フィルム及び関係会社(国内外)の情報収集  
(重点実施項目、エクセルファイル)
- 2004年～現在  
富士フィルムグループ全体(富士ゼロックスも)の情報収集  
(重点実施項目、インターネット)

2008/7/30

7  
FUJIFILM